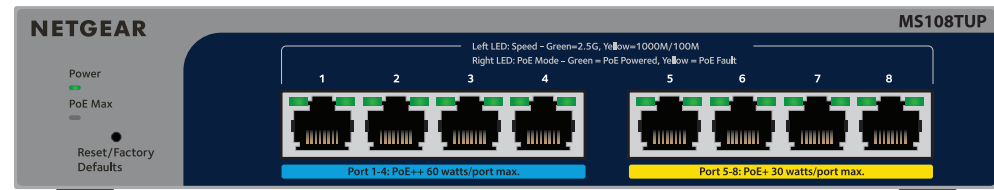


インストールガイド

Ultra60 PoE++対応マルチギガ (2.5G) 8ポート スマートスイッチ MS108TUP



同梱物

- NETGEAR Ultra60 PoE++対応マルチギガ (2.5G) 8ポート スマートスイッチ
- 電源アダプター
- 壁掛けキット
- ゴム足
- インストールガイド

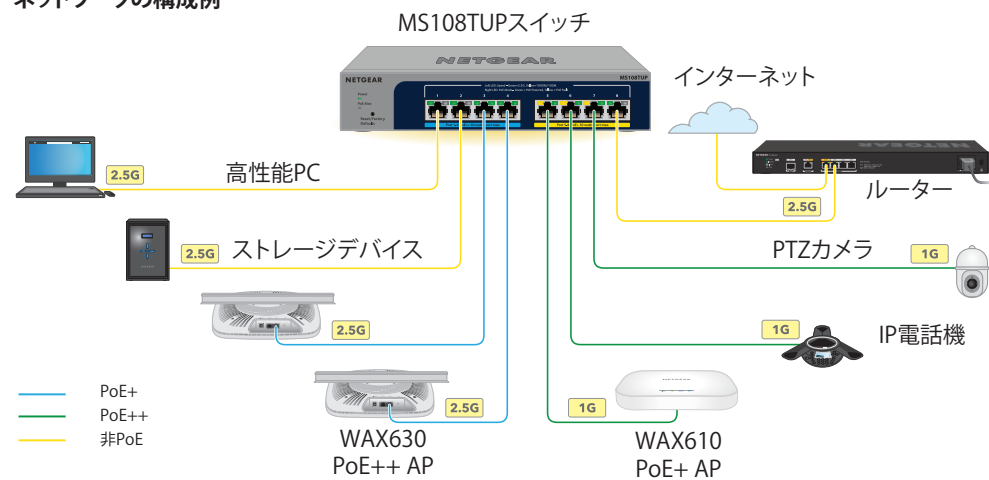


201-30602-02

2024年8月

手順1: スイッチの接続

ネットワークの構成例



- デバイスをスイッチのマルチギガポート (1~8) に接続します。
ポート1~4は、PoE++ (IEEE 802.3bt) をサポートします。ポート5~8は、PoE+ (IEEE 802.3at) をサポートします。
1Gと2.5Gの通信速度で接続するには、カテゴリ5e (Cat 5e) 以上のLANケーブルを使用してください。
- スイッチのポートを、ネットワークに接続します。
小規模ネットワークでは、スイッチをモデムまたはゲートウェイに接続しているルーターのLANポートに接続します。
- スイッチの電源を入れ、2分間待ちます。
ネットワークにDHCPサーバーが存在する場合は、スイッチに新しいIPアドレスが自動的に割り当てられます。存在しない場合は、192.168.0.239/24 のIPアドレスが割り当てられます。

本スイッチは、屋内専用です。屋外にあるデバイスに接続する場合は、屋外デバイスを適切に接地し、サージ保護を行う必要があります。また、スイッチと屋外デバイス間の配線にイーサネットサージ保護装置を取り付ける必要があります。上記を行わない場合、スイッチが損傷するおそれがあります。

警告: 本スイッチを屋外のケーブルやデバイスに接続する前に、安全および保証に関する情報を次のURLでご確認ください: <https://kb.netgear.com/ja/000057103>

手順2: PoEステータスの確認

スイッチは、ポート1~4にPoE++ (IEEE 802.3bt) の最大60W、ポート5~8にPoE+ (IEEE 802.3at) の最大30Wを給電できます。有効なPoEポート全体の最大PoE給電能力は230 Wです。

前面パネルの左側にあるPoE Max LEDは、スイッチのPoE給電の状態を示します。

- 消灯:** 十分な状態です。給電能力が7 Wを上回っています。
- 黄色点灯:** 給電可能な電力が7W未満です。
- 黄色点滅:** 過去 (2分以内) に給電可能な電力が7W未満になりました。

システムLED、ポートLED、設置方法の詳細については、ハードウェアインストールガイド (<https://www.jp.netgear.com/support/download> から型番を入力してダウンロード可能) を参照してください。

手順3: スイッチのIPアドレスの検出 およびスイッチの管理

次の表に記載されているいずれかの方法で、スイッチにアクセスおよび管理できます。

| | |
|----|---|
| A. | NETGEAR Discovery Toolおよびスタンドアロンのローカル管理: 参照: A. NETGEAR Discovery Toolを使用してスイッチを検出し、Web管理者ページでスイッチを管理する |
| B. | NETGEAR InsightクラウドポータルまたはNETGEAR Insightアプリのリモート管理: 参照: B. NETGEAR Insightを使用してスイッチを検出および管理する |

メモ: 詳細については、ユーザーマニュアルの手順を参照してください。マニュアルは、NETGEARダウンロードセンター (<https://www.jp.netgear.com/support/download/>) からダウンロードできます。NETGEARダウンロードセンターのQRコードは右側に記載されています。NETGEAR Insightを使用してスイッチを管理する方法の詳細については、kb.netgear.com/000044336 を参照してください。



A. NETGEAR Discovery Toolを使用してスイッチを検出し、Web管理者ページでスイッチを管理する

NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出する

NETGEAR Discovery Tool (NDT) を使用すると、スイッチと同じネットワークに接続されているMacまたはWindowsベースのPCから、ネットワーク内にあるスイッチのIPアドレスを検出できます。このツールは、<https://www.netgear.com/jp/support/product/netgear-discovery-tool/> からダウンロードできます。

スイッチのWeb管理者ページを使用してスイッチを管理する

スイッチはプラグ&プレイでそのまま使用することもできますが、Web管理者ページにログインすれば、様々な機能をご利用いただけます。

- スイッチと同一ネットワークに接続済みのPCやタブレットから、Webブラウザを起動します。有線接続またはWiFi接続を使用できます。
- Webブラウザのアドレス欄に、NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出するで確認したスイッチIPアドレスを入力します。
- まだNETGEAR Insightアプリでスイッチを登録していない場合は、次のいずれかのボタンをクリックします。

- デバイスの登録:** このボタンは、スイッチがインターネットに接続されている場合に表示されます。スイッチを登録して保証を有効化できます。スイッチを登録する多くのメリットについては、www.netgear.com/jp/why-register/ を参照してください。

- 登録キーを入力:** 登録キーを取得している場合 (MyNETGEAR.com サイトでスイッチを登録した場合など)、キーを入力してWeb管理者ページにログインできます。
- 登録をスキップして管理者ページにアクセス:** 登録は必須ではありませんが、登録を強くお勧めします。購入後30日以内にスイッチを登録しないと、保証資格に影響する場合があります。

- 入力画面が表示されたら、デフォルトのデバイス管理者パスワード (**password**) を入力し、**[ログイン]** ボタンをクリックします。
- [デフォルトのパスワードの変更] ページが表示されたら、新しいデバイス管理者パスワードを入力、確認し、**[送信]** ボタンをクリックして、新しいパスワードを使用して再度ログインします。

システム情報ページが表示されます。スイッチにログイン後は、スイッチをセットアップできるようになります。Web管理者ページからのスイッチの設定の詳細については、ユーザーマニュアル (<https://www.jp.netgear.com/support/download/> から型番を入力してダウンロード可能) を参照してください。

B. NETGEAR Insightを使用してスイッチを検出および管理する

NETGEAR Insight PremiumおよびInsight Proの契約ユーザーの場合、NETGEAR InsightクラウドポータルとNETGEAR Insightアプリをスイッチで利用できます。スイッチを検出および管理するには、次のいずれかの方法を使用します。

メモ: InsightクラウドポータルまたはInsightアプリを使用してスイッチを管理する場合も、引き続きWeb管理者ページを使用してスイッチを管理することもできます。つまり、これらの管理方法は相互に排他的なものではなく、互いを補完するものです。Insightへの変更はWeb管理者ページに同期され、逆にWeb管理者ページへの変更はInsightに同期されます。Insightはスイッチでデフォルトで有効になっています。

Insightクラウドポータルを使用してスイッチを検出および管理する

クラウドベースの管理プラットフォームInsightのポータルからスイッチを検出し、管理することができます。

- PCまたはタブレットで、insight.netgear.com にアクセスします。
- NETGEARアカウントのメールアドレスとパスワードを入力し、**[NETGEARサインイン]** をクリックします。
- Insight Proユーザーの場合は、スイッチを追加する組織を選択します。
- スイッチを追加する新しいネットワークロケーションを追加するか、既存のネットワークロケーションを選択します。ネットワークロケーションに設定したデバイス管理者パスワードによって、ネットワークロケーションに追加したすべてのデバイスの既存の管理者パスワードが置き換えられます。
- + (デバイスの追加)** ボタンをクリックします。
 - メモ:** Insight Proユーザーは、デバイスを1台ずつ追加するか、CSVファイルでデバイスリストをアップロードして、複数のデバイスを追加することもできます。
- [新しいデバイスの追加] ポップアップページで、スイッチのシリアル番号とMACアドレスを入力し、**[進む]** をクリックします。
- 必要に応じてスイッチのデバイス名を変更し、**[次へ]** をクリックします。セットアップが進行中であることを確認するページが表示されます。

メモ: スイッチがオンラインであるにもかかわらず検出されない場合、スイッチが配置されている場所にあるファイアウォールによって、Insightクラウドとの通信が妨げられている可能性があります。この場合は、ファイアウォールへのアウトバウンドアクセス用にポートとDNSエントリを追加します。詳細については、kb.netgear.com/000062467 を参照してください。

スイッチは、最新のファームウェアおよびロケーション設定に自動的に更新されます。これには最大10分かかる場合があり、その間にスイッチが再起動します。スイッチはInsightの管理対象デバイスとなり、Insightのクラウドベースの管理プラットフォームに接続されます。

NETGEAR Insightアプリを使用してスイッチを検出および管理するInsightアプリを使用して、iOSまたはAndroidモバイルデバイスからスイッチを検出、管理し、クラウドベースの管理プラットフォームInsightに接続できます。

- モバイルデバイスから各ストアにアクセスし、「NETGEAR Insight」と検索して最新バージョンのアプリをダウンロードします。
- NETGEAR Insightアプリを起動します。
- NETGEARアカウントをお持ちでない場合は、**[NETGEARアカウントの作成]** をタップし、画面に表示される指示に従います。
- NETGEARアカウントのログイン情報を入力し、**[サインイン]** をタップします。
 - スイッチおよびモバイルデバイスが同じネットワークに接続されている。** スイッチとそのIPアドレスがデバイスリストに表示されます。以下の操作を実行します。
 - スイッチを選択するか、**[未登録]** をタップします。
 - 次の画面で**[デバイスの追加]** をタップし、手順5に進みます。スイッチがデバイスリストに表示されない場合は、右上隅の**[+]** をタップし、**[ネットワークをスキャン]** をタップします。それでもスイッチが表示されない場合は、NDTを使用してスイッチを検出します。詳細は、「[NETGEAR Discovery Toolを使用して、ネットワーク内のスイッチIPアドレスを検出する](#)」を参照してください。
 - スイッチとモバイルデバイスが同じネットワークに接続されていない場合。** スイッチとそのIPアドレスはデバイスリストに表示されません。以下の操作を実行します。
 - 右上隅の**[+]** をタップします。
 - モバイルデバイスのカメラでバーコードまたはQRコードをスキャンするか、シリアル番号を入力して、手順5に進みます。
- 画面の指示に従って、スイッチの登録を完了します。

メモ: InsightとWeb管理者ページの両方を使用してスイッチを管理する場合、Insightネットワークロケーションにスイッチを追加すると、Insightネットワークロケーションのパスワードが、Web管理者ページのスイッチ管理者パスワードに置き換わります。Web管理者ページにアクセスするには、Insightネットワークロケーションのパスワードを入力する必要があります。

PoEに関する注意事項

スイッチのPoE給電の優先順位は、ポート番号の小さい順（ポート1からポート8の順）です。スイッチは、有効なPoE+およびPoE++ポート全体で合計230Wを給電できます。

- ポート1〜4:** 各ポートはPoE++ (802.3bt) で最大60Wの給電できます。
- ポート5〜8:** 各ポートはPoE+ (802.3at) で最大30Wの給電できます。

次の表は、オーバーライドが適用されていない標準の電力範囲を示しており、最大ケーブル長は100メートルで計算されています。スイッチからPDデバイスに十分な電力が配給されない場合は、短いLANケーブルの使用をご検討ください。

| クラス | 互換性のあるPoE規格 | クラスの説明 | スイッチで供給される最大電力 | 受電デバイス (PD) の電力範囲 |
|-----|------------------|------------|----------------|-------------------|
| 0 | PoE, PoE+, PoE++ | デフォルト (フル) | 15.4 W | 0.44 W〜13.0 W |
| 1 | PoE, PoE+, PoE++ | 超低消費電力 | 4.0 W | 0.44 W〜3.84 W |
| 2 | PoE, PoE+, PoE++ | 低消費電力 | 7.0 W | 3.84 W〜6.49 W |
| 3 | PoE, PoE+, PoE++ | 中消費電力 | 15.4 W | 6.49 W〜13.0 W |
| 4 | PoE+, PoE++ | 高消費電力 | 30.0 W | 13.0 W〜25.5 W |
| 5 | PoE++ | 超高消費電力 | 45.0 W | 25.5 W〜40.0 W |
| 6〜8 | PoE++ | 超高消費電力 | 60.0 W | 40.0 W〜51.0 W |

PoEのトラブルシューティング

PoEに関するよくあるトラブルの解決方法を以下で説明します。

- PoE Max LEDが黄色に点灯している場合は、1台以上のPoEデバイスの接続を外してPoEの容量オーバーを防いでください。
- 各受電デバイス (PD) がスイッチに接続されると、対応するスイッチ上のPoE LEDが緑色に点灯します。PoE LEDが黄色に点灯している場合は、PoEに障害が発生しており、次の表に記載したいずれかの原因によりPoEが停止しています。

| PoEの障害原因 | 解決策 |
|---|---|
| PoEが関係する短絡がポートで発生している。 | |
| PDのPoE要求電力が、スイッチの許容最大レベルを超過している。最大レベルは、PoE接続で15.4 W、PoE+接続では30 W、PoE++接続では60 Wです。 | 不具合の原因は接続されているPDの可能性が高いです。PDの状態を確認します。PDの接続を外し、再接続することで、PDを再起動します。または短いケーブルに変えてみます。 |
| ポートのPoE電流がPDの種別限度値を超過している。 | |
| ポートのPoE電圧がスイッチの許容範囲外である。 | スイッチを再起動して、不具合が解消するかどうか確認してください。PDの状態を確認します。PDの接続を外し、再接続することで、PDを再起動します。または短いケーブルに変えてみます。 |

サポートとコミュニティ

不明点がある場合や最新版のダウンロードについては、jp.netgear.com/supportにアクセスしてください。

また、NETGEARコミュニティ (<https://community.netgear.com/jp>) で役立つアドバイスを提供しています。

法規制とコンプライアンス

EU適合宣言書などの法規制遵守情報については、次のURLをご参照ください:
<https://www.netgear.com/jp/about/regulatory/>本製品をお使いになる前に、必ず規制遵守情報をご参照ください。

本製品は屋外ではご使用になれません。PoEポートは屋内での接続のみを想定しています。

6GHz対応製品に関する注意事項: 屋内のみでご使用ください。石油プラットフォーム、自動車、列車、船舶、航空機での6GHz対応製品の操作は禁止されています。ただし、10,000フィート上空を飛行中の大型航空機ではこの製品の操作が許可されています。5.925〜7.125 GHz帯の送信機は、無人航空機システムの制御や通信のために運用することは禁止されています。

NETGEAR®

ネットギアジャパン合同会社

© NETGEAR, Inc.、NETGEAR、およびNETGEARのロゴはNETGEARの商標です。その他の商標またはロゴは参照目的のためにのみ使用されています。